

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フォレストキッズ川崎教室		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	質の高い個別支援を提供している。	一人ひとりの保護者や児童の主訴に対して、オーダーメイドで支援計画を作成し、指導員と児童の一対一で取り組める環境を作っている。また、日々多くの外部研修に参加し、支援内容のアップデートを図っている。	幼保や療育センター、他の児童発達支援事業所等と連携を取りながら、より多角的な視点でサポートができるようにしていく。
2	家族支援の充実を図っている。	月1程度の保護者面談、毎回の支援後のフィードバック、その他ご要望に応じて、児童の通っている幼保や児童発達支援事業所等の情報共有のための見学会や連携会議を行っている。	保護者会の実施等を検討し、保護者が抱える子育ての悩みや負担を少しでも軽減できるような取り組みを実施する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けの研修会や懇談会などを行う必要がある。	個別での保護者面談の際に、ご家庭でできるペアレントトレーニング等について助言をしているが、集団向けの研修会や懇談会は行っていない。	保護者からのニーズに応じて、研修会や懇談会などの機会を設け、家庭での困り感の共有や解決に向けて、家庭支援を行っていただけるように努める。
2	児童や保護者等を含めた実働型の防災訓練を積極的に行う必要がある。	職員対象の防災訓練や個別支援の中で火災や地震をテーマとした防災訓練を児童対象に実施しているが、児童や保護者、職員等を対象とした実働訓練を行っていない。	個別支援の中での防災教育を継続しながら、今後、児童や保護者、職員等を含めた実働訓練を行い、実際の緊急時を想定して、しっかりと訓練ができるように努める。
3			